

「国立研究開発法人国立国際医療研究センター契約監視委員会」の審議概要について

【問い合わせ先】

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

監査室（契約監視委員会事務局）

電話03-5273-5304

平成28年度 第2回国立研究開発法人国立国際医療研究センター契約監視委員会が、平成29年1月25日（水）に、研修センター地下1階レセプションルームにおいて開催されましたので、その審議概要について公表します。

「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて」（平成21年11月17日閣議決定）に基づき、外部有識者及び監事で構成する「契約監視委員会」において、審議対象契約について点検・見直しの審議を行った。

平成28年度 第2回 国立研究開発法人国立国際医療研究センター契約監視委員会（概要）

開催日及び場所	平成29年1月25日（水） 研修センター地下1階レセプションルーム
委員（敬称略）	小澤 優一（外部委員） 神寄 信吾（外部委員） 水嶋 利夫（監事） 石井 孝宜（監事）
審議対象	<p>「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて」（平成21年11月17日閣議決定）及び改正版設置要綱に基づき策定された、国立国際医療研究センター契約監視委員会規程（平成22年12月9日規程第75号）第4条第1項第1号～第3号に該当し、平成28年5月1日～平成28年11月30日迄（以下「対象期間」という。）に契約を締結した案件を審議対象とした。</p> <p>（1）対象期間の調達において競争性のない随意契約であったもの【34件】</p> <p>（2）公益法人等との契約で、再委託率が50%以上の随意契約 【該当案件なし】</p> <p>（3）対象期間の調達において一者応札・応募であったもの 【20件】</p> <p>上記20件のうち2年連続で一者応札・応募であったもの【2件】</p> <p>（4）一般競争契約等の案件のうち、対象期間の契約において落札率が100%であったもの、又は締結した契約の落札率が100%となったもの 【該当案件なし】</p>

<p>審議概要</p>	<p>1. 委員会の進め方等について 事務局より、本審議の進め方についての説明が行われ、了承を得た。</p> <p>2. 委員会における審議方法 (1) 各個別審議案件毎に概要説明 (2) 委員からの意見・質問に対する担当部署からの回答を踏まえ審議</p> <p>3. 審議内容及び審議結果 (1) 対象期間の調達において競争性のない随意契約【34件】 34件の随意契約について個別説明を受け審議した結果、以下のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究に影響がでるため緊急性を要するもの 8件</li> <li>・ リース継続案件であるため随意契約とせざるを得ないもの 3件</li> <li>・ 継続案件が存在するため随意契約とせざるを得ないもの 7件</li> <li>・ システム改修等により他者では対応できないもの 9件</li> <li>・ 契約の相手方が一者に定められているもの 7件</li> </ul> <p>以上34件については、随意契約とせざるを得ないとの結果となった。</p> <p>・ 電子入札システムの導入のメリットを検討し、導入の可否について次回の委員会で報告することとなった。</p> <p>(2) 対象期間の調達において一者応札・応募であったもの【20件】 20件のうち、2年連続で一者応札・応募になったもの【2件】 上記について説明を受け審議した結果、以下のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年連続して一者応札・応募となっている案件については、契約者及び他の会社から聴き取りを実施して、次回の委員会に報告することとなった。 また、聴き取りの記録は証跡として残しておくべきであるとの指摘がなされた。</li> <li>・ 他の業者が参入しにくい案件については、公平な入札にするために参入してくる業者への配慮が必要であるとの指摘がなされた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------------	---